

マギヤレルの マーケットメモ



デイビッド・マギヤレル CFA, CPA

チーフ・インベストメント・オフィサー

2026年7月

過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

S&P500指数は、米国大型株市場のパフォーマンスを測定するために使用される、500銘柄から構成される非運用型指数です。投資家が指数に直接投資することはできません。S&P500ヘルスケア指数は、S&P500指数の構成銘柄のうち、ヘルスケア・セクターに属する銘柄を含む非運用型指数です。S&P500生活必需品指数は、S&P500指数の構成銘柄のうち、生活必需品セクターに属する銘柄を含む非運用型指数です。S&P500公益事業指数は、S&P500指数の構成銘柄のうち、公益事業セクターに属する銘柄を含む非運用型指数です。指数には運用報酬や売買手数料はかからず、示されたパフォーマンスからも、そのような報酬や費用は差し引かれていません。

特定の証券への言及は、売買の推奨と解釈されるべきではなく、利益が得られると想定されるべきでもありません。

提示された情報は、特定の個人に対する投資推奨または助言を構成するものではありません。本資料は、暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではなく、読者に対して投資戦略に関する結論を導き出すものでもありません。また、いかなるファンドの現在または将来の価値や価格についても意見を述べるものではありません。

ファースト・トラストは、いかなる投資家に関する情報も把握しておらず、また提供も受けていません。金融専門家は、特定の投資が顧客にとって適切であるかどうかを判断する必要があります。

本資料は情報提供のみを目的としています。ここに記載されている情報は、いかなる投資活動への勧誘、提案、勧誘、または推奨を構成するものではありません。

本レポートは、ファースト・トラスト・アドバイザーズL.P.によって作成され、著者の現在の見解を反映しています。本レポートは、正確かつ信頼できると考えられる情報源およびデータに基づいています。表明されている意見および将来の見通しに関する記述は、予告なく変更される場合があります。この情報は、いかなる証券の売買の勧誘または申し出を構成するものではありません。

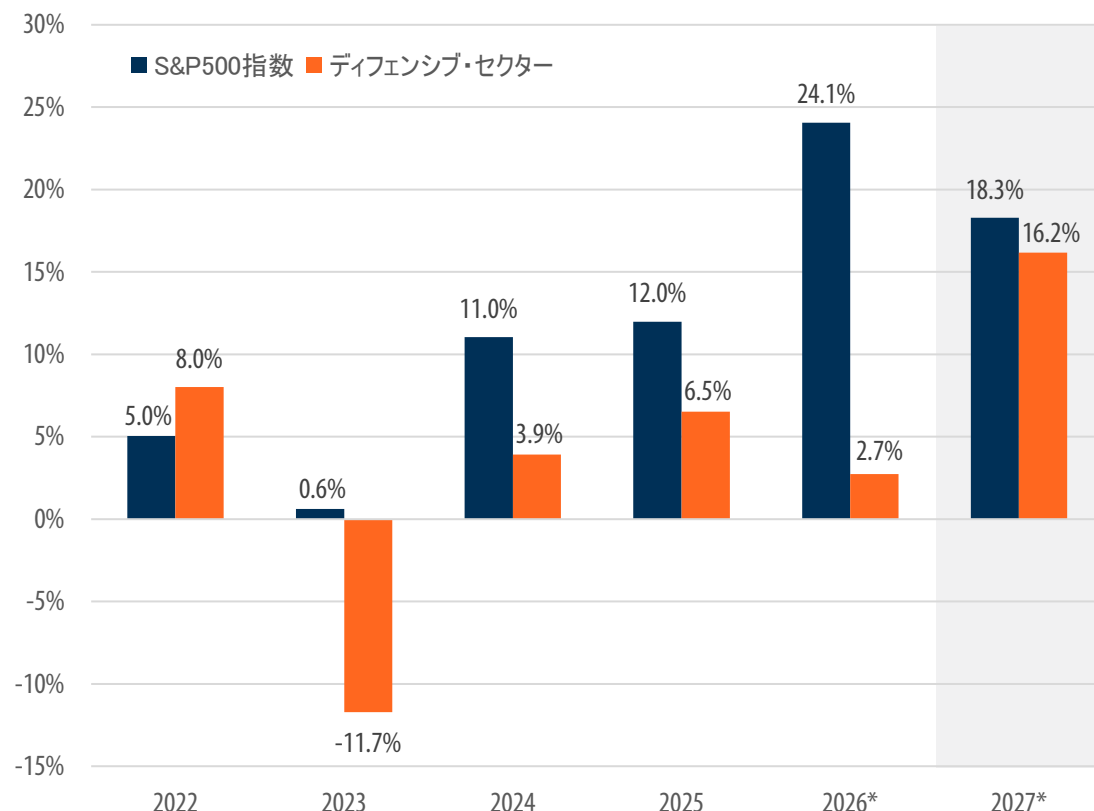
2022年末時点では、S&P500指数(以下「指数」)におけるヘルスケア、生活必需品、公益事業の3セクターの合計構成比は26%を占めていました。これらは伝統的にディフェンシブな特性を持ち、比較的ボラティリティが低いとされる3つのセクターです。しかし、わずか3年半後の2026年6月30日時点では、これら3セクターの構成比は約16%まで低下しています。これは驚くべき減少です。この期間中、3セクターはいずれもプラスのリターンを記録したにもかかわらず、このような構成比の低下が起きました。ただし、そのリターンはテクノロジー・セクター主導の大型グロス株相場を大きく下回るものでした。

それでもなお、市場が不安定になると投資家が資金を向ける先は、この3つのセクターです。その例として6月を見てみましょう。人工知能(AI)関連相場の持続力に対する懸念から指数が1%下落する中、ヘルスケア・セクターは7%上昇し、全セクター中2番目に良好なパフォーマンスとなりました。公益事業セクターも3%上昇し、生活必需品セクターも0.5%のプラス・リターンを記録しました。これはわずか1か月間の動きに過ぎませんが、ボラティリティや不確実性が高まる局面では、投資家が引き続きこれらの分野へ資金を戻していることを明確に示しています。また、モメンタム主導の一部銘柄に集中した市場環境では、今後さらにボラティリティが高まる可能性があると考えられています。

さらに、これら伝統的に低成長と見なされてきたセクターについては、2027年の1株当たり利益(EPS)成長率が3セクター合計で16%を超えると予想されています。

市場全体のバリュエーションが割高な水準にあり、一部では投機的な動きも見られる中、堅調な利益成長見通しを踏まえると、投資家は将来のボラティリティに対するバランスを取る手段として、ディフェンシブ・セクターを見直すべきではありません。

1株当たり利益 (EPS) 成長率



出所:CapitolIQ。データは2026年6月30日時点。ディフェンシブ・セクターは、S&P500ヘルスケア指数、S&P500生活必需品指数、およびS&P500公益事業指数によって構成されています。1株当たり利益(EPS)成長率は、EPSが時間の経過とともにどの程度成長したかを示す指標です。
*は予想利益を示します。なお、これらの予測が実現することを保証するものではありません。